

「シン・トセイX」とは

都民が真に「実感」できるQOS（都民サービスの質）向上へと更なる飛躍を果たすため、これまでの取組に加えて**組織や分野を越えたDX**を進め、都政の構造改革を次なるステージへと進化させていきます

政策DX：組織や分野の壁を越えたDX

リーディング・プロジェクト

組織横断で様々な壁に対して果敢に挑戦し、「政策DX」の全庁的な取組を牽引
(例) こども分野・防災分野など

DX共同化
構想推進
プロジェクト

各局・区市町村等が利用するシステムやデジタルツール等を共同化
(例) アプリ・事業者DB・ダッシュボードなど

コア・プロジェクト：全庁的な改革の推進

ユーザー参画・協働プロジェクト

都民や多様な主体との協働によりサービス改善・社会課題を解決

スマートワーク・プロジェクト

都庁の生産性と職員の意欲や能力を継続的に向上する環境整備

全てのデジタルサービスを「魅力的品質」に



都民・事業者

都民や事業者の「手取り時間」が増える

これまでの取組

サービスの質向上に向けた取組

行政手続デジタル化

2020年9月末

2024年12月末

2026年度末

5%

82%

100%達成へ

サービス改善実践窓口数

2023年度

2025年度

プロトタイプ窓口でBPR

全ての窓口で改革を実践

約120か所

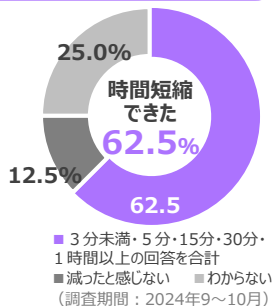
約1,000か所

DXで「手取り時間」を増やす取組

プッシュ型子育てサービス

アプリから必要な情報が先回りで届き、
知りそびれや申請忘れをなくします

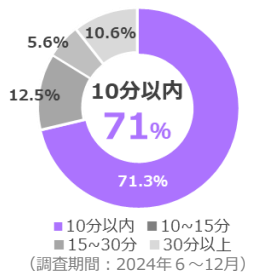
▶ **6割以上**の利用者が時間を短縮



給付金手続の利便性UP

「018サポート」においてマイナンバーカードを
スマホにかざして申請できる仕組みを導入

▶ 手続に要する時間が**大幅に短縮**



目指す
将来の姿

全ての子育て支援サービスを ワンズオンリー・ワンストップで



マイナポータルで
出生届を作成・送信

民間や都のアプリ等により
必要な情報をプッシュ配信



お知らせ



相談



現物支給



給付金

+ 手続きもワンズオンリー・ワンストップで！



手間が減って
時間も短縮！

2025

018サポートと同時に東京都出産・子育て応援事業の申請を受け付け、**一部サービスのワンズオンリーが実現**

2035

必要な情報が先回りで届き、知りそびれや申請忘れをなくすとともに、各種サービスを**簡単・便利に利用可能に！**

目指す
将来の姿

デジタルを活用し必要な支援につなげ、 高齢者の見守りを強化

地域の見守りアプリ (開発・改善)



- ・見守りガイドブックの情報
- ・異変発見時等取るべき行動の検索
- ・地域包括支援センター等との情報共有

ダウンロード

見守りサポーター

企業・団体など様々な主体

金融機関

スーパー

銭湯

など

町会
自治会

民生委員
児童委員

老人クラブ

ボランティア
団体

情報共有

日常적인見守り、交流

行政

専門的な支援・見守り

高齢者

- ・高齢者を見守る地域づくりを促進
- ・状況に応じたきめ細かな対応
- ・異変発見時に迅速かつ的確に対応



2025

地域の見守りアプリを開発し、アプリを活用した見守りを一部自治体で先行実施。

利用者の意見を踏まえ機能改善

2035

都内全域で、**高齢者の見守り体制・連携体制をデジタルを活用して強化**し、地域で安心して暮らせる社会を実現

目指す
将来の姿

被災者情報の一元管理により 円滑な支援を実現



〈国〉
マイナンバー活用



〈区市町村〉
住民基本台帳データ



〈都庁〉
被災者支援に係るシステム



〈民間・都民等〉
既存の安否確認システム

システム間の壁を越えた
災害情報の集約・一元管理

被災者DBを
中心とした情報連携

- ・安否情報（負傷有無・位置情報）
- ・避難場所
- ・被災者の状況（健康状態・既往・ペットの有無・家族構成 等）
- ・被災者の支援ニーズ
- ・住家の被害状況 など

- ・迅速な救出救助
- ・家族の安否情報の共有
- ・必要な支援ニーズの収集
- ・申請可能な生活再建メニューの通知



被災者に対し、避難生活、生活再建まで継続的に支援

2025

発災直後からの一貫した情報管理に係るシステム構築に向けた調査検討

2028年度に設計完了

2035

避難者の所在把握や必要な支援の提供を迅速化・適正化し、タイムリーかつ継続的な支援を実現

目指す
将来の姿

都庁をポケットに！ ～都民と行政をつなぐアプリ～

2025

- ▶ 東京都公式アプリ「東京アプリ」のサービス開始(2025年2月)
- ▶ マイナ認証実装を契機とした**キャンペーンを実施**(2025年秋以降)

2035

各局アプリや各種手続、施設予約等を一元化し、生活をもっと便利に、行政をもっと身近に感じられるアプリを目指します

施設予約が
ワンストップで

意見などを
届けられる

健康

福祉

環境

各種手続が
ワンズオンリーで

子育て

観光

手続漏れを
なくせる

都民と行政を
つなぐアプリ

生活

交通

防災

情報を
プッシュ型発信

ポイント付与

活動参加

申請・手続、
提言等

off

社会的意義ある
活動参加の促進

情報発信や申請、
施設予約、都への提言等



東京アプリのHPはこちら >

※東京アプリは、対象のイベントに参加してポイントを取得できるサービスから開始しています

目指す
将来の姿

事業者の行政手続が 便利で簡単に！

2025

- ▶ 事業者データベースの運用開始
- ▶ 全庁の事業者向けの補助事業等の手続がワンズオンリーに！

2035

届出・許認可等にも対象を拡大し、国への手続とも連携した**完全なワンズオンリー・ワンストップ**を実現

【一度目】
A局補助金

法人番号
所在地
口座情報
....

入力・申請

プッシュ型の申請案内

【二度目】
B局補助金

手軽に申請
「ワンズオンリー」

法人番号を
キーに申請

入力の手間がなくなり、
事業者の負担軽減

事業者情報の共同化



目指す
将来の姿

東京の「今」が分かる！ ～TOKYOダッシュボード～

2025

- ▶ 既存のダッシュボードを集約し、**TOKYOダッシュボードを公開**
- ▶ ブロードリスニング等を活用し、都民の声を可視化

2035

民間データの活用やデータの自動反映など、ダッシュボードに基づく政策発信を強化

TOKYOダッシュボード (イメージ)

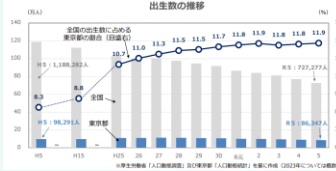


①重要な政策テーマ

<分かりやすい分析>



<視覚化されたデータ>



②AIを活用した可視化

<ブロードリスニング>



<テキストマイニング>



\\ 2025年8月公開予定、順次拡充 //

目指す
将来の姿

「便利になった」と実感できる 行政手続のデジタル化

行政手続デジタル化の推進

2024年12月末

82%

2026年度末までに

100% (※)

※都の裁量で対応可能な手続について



更なるサービスの質（QOS）向上

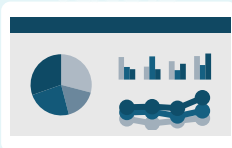
QOS向上三原則

より早く
(処理期間短縮)

よりシンプルに
(手続の簡素化)

より使いやすく
(UI/UX改善)

手続の質を
見える化



施策の実施

BPR

期間短縮 添付書類削減 スマホ対応

ユーザーレビュー

★★★★★
利用者の声を踏まえた改善

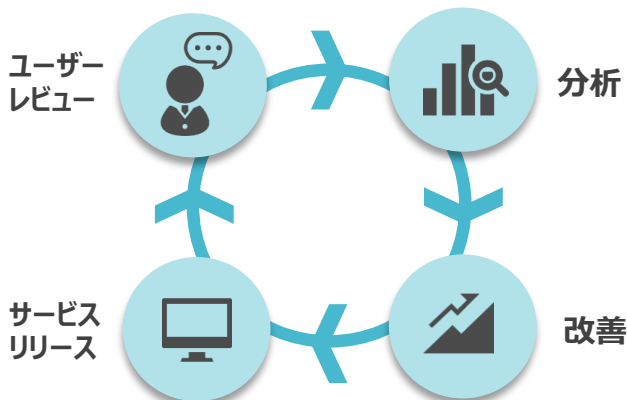
利用者目線で使いやすい手続へ



目指す
将来の姿

ユーザーレビューを踏まえ 継続的にサービスを改善

サービス改善サイクル



4.0 申請完了

〇〇申請が完了しました。
届達完了までには数日かかります。申請内容の確認のため、自治体からご連絡がいく可能性があります。

アンケートに
御回答ください

回答フォーム

行政手続、ホームページなど
あらゆるデジタルサービスから回答フォームに遷移

人カフォーム

このフォームにご入力をお願いします。

ホームページタイトル

レビュー評価アンケート
ご協力いただき、ありがとうございます。
画面上に閲覧していたページの内容について、ご評価ください。

この閲覧していたページは役に立ちましたか？
ページに関する評価 (満足度) を選択してください。

満足度

- ・満足度を5段階で評価
- ・満足度の理由等も受付

ユーザーの意見を踏まえて、絶えず改善

ユーザー満足度3未満の
サービスをゼロに！

目指す
将来の姿

東京都との契約で対面・郵送 による書類提出が不要に！

契約締結

(電子契約サービスを利用)

完了届

請求書

契約請求システム

案件情報登録

契約件名

事務システムの調達

履行場所

東京都新宿区...

支払方法

XXXX

完了届

契約件名

事務システムの調達

履行場所

東京都新宿区...

法人名

株式会社〇〇〇

代表者名

東京 太郎

完了年月日

自動
入力

請求書

未提出 提出済み 受理待ち 受理済み

東京都が請求書の確認を開始しました

契約件名

事務システムの調達

履行場所

東京都新宿区...

法人名

株式会社〇〇〇

代表者名

東京 太郎

請求金額

¥ 10,000,000

▶情報の自動入力により入力の手間を軽減！

▶手続の進捗が確認できる！

▶紙書類を削減できる！

手続にかかる
時間も大幅に
削減された



契約書、納品書、請求書などの
手続きがデジタルで完結

東京都契約請求システムは、2024年4月1日か
ら本格稼働しております。

東京都契約請求システムの利用には、デジタル
署名が発行するビジネスIDの取得の上、事前に都
政契約請求システムの利用登録を行う必要
があります。

Q 利用登録は「こちら」先にご確認ください。

6ビジネスIDでログインする

今後、工事契約への対象拡大により、
数百ページ相当※の関係書類について、
電子ファイル等で送受信が可能に

※工事種別・内容
によって数字は増減



目指す
将来の姿

職員・シビックテック等が知恵を出し合い、新たなサービス創出

都知事杯
Open Data
Hackathon

応募者数

2021年度以降
計**2,193**人

サービス
リリース件数

2021年度以降
計**19**件



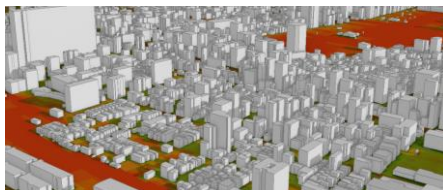
ハッカソンでは、社会課題解決につながるサービスを生み出しています



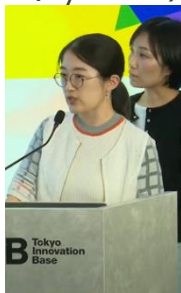
2024年度都知事杯（最優秀賞）
2024年度オーディエンス賞
リアルタイム高解像度

熱中症リスクダッシュボード (by HITS)

技術資料 | 日影シミュレーション



3D都市モデルを用いて、
建物から生まれる日影をシミュレーション



GovTech東京と連携しながら技術的な支援を強化し、ハッカソンで
生み出された成果の社会実装を後押ししていきます

コア・プロジェクト

詳細は全体版をご覧ください



都政の構造改革に関する最新の情報を「#シン・トセイ ポータルサイト」やnote、Xで発信しています

#シン・トセイ

都政の構造改革ポータルサイト

note



今すぐチェック >

今すぐチェック >

今すぐチェック >

シン・トセイではあらゆるデジタルサービスでユーザーレビューの実装を進めています。皆様からのご意見・要望をお待ちしております

ホームページ評価アンケート(回答ページへ遷移します)

回答する >

ページに関しての
評価をお聞かせください



ご意見等を踏まえ、継続的にサービス改善に取り組んでいきます

#シン・トセイ